

平成31年度 学校自己評価表

（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

福岡県立京都高等学校長
（全日制課程）

学校運営方針		学校運営計画（4月）		評価（3月）	
昨年度の成果と課題		地域のみならず世界を舞台に活躍するグローバル・リーダーを育成する			
		年度重点目標	具体的目標		
昨年度は、スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定4年目、その取組に対して一定の評価を得た。特に、生徒が手応えを感じながら新たな研究課題に取り組んでいく学びのスタイルが評価された。今年度は、SGH指定最終年度になる。本県において本校の存在価値を一層高め、指定終了後もグローバルリーダーを育成するための教育活動を展開していく。 また、新学習指導要領及び大学入試改革に向けた研鑽に励むとともに、指導力の向上に努める。		・相手に対して、思いやりの心を持って、自分の考えを伝えることのできる力の育成 ○倫理観、責任感、協調性の育成	・思いやりの心を持った環境の中で、基本的な生活習慣の確立、規範意識の高揚を図る。 ・安全で快適な学習環境を確立し、心身の健全育成を目指す。		
		・志をもって意欲的に学ぶ生徒の育成 ○主体性、チャレンジ精神の育成	・SGH、京都高校CBAプラン（学力向上プラン）に基づく教育活動を充実・推進し、学習意欲の向上、進路実績の飛躍を図る。 ・「総合的な学習（探究）の時間（グローバルアグリタイム、インディペンデンスプロジェクト）」の充実を図り、課題発見・解決型の探究活動を展開する。		
		・困難に立ち向かうことができる逞しい生徒の育成 ○課題発見・解決能力、コミュニケーション能力の育成	・今日的な社会課題の発見・解決に取り組み、自らを自己表現できる力を伸ばす。 ・鍛えてほめることにより、自らの課題に正面から取り組み、克服する問題解決能力を育成する。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）	次年度への主な課題	
教育振興班	授業および生徒の学習状況の改改善に取り組み、志を持って意欲的に学ぶ生徒の育成	生徒による授業評価の共有化 生徒の家庭学習時間のモデルプラン作成と学習習慣の定着化 諸帳簿・成績処理などの事務処理の効率化			
企画庶務班	学校行事における企画及び円滑な運営と温交会や互助会などの福利厚生者の充実	前年度の反省、引継事項を活かした学校行事の企画・運営 月当番幹事と連携した温交会行事の運営 PTA理事会の円滑な運営への寄与			
生徒指導班	生徒の主体的な活動を推進するため職員・PTA・関係機関・地域と連携し、生徒の自己教育力を向上する。	学校行事への組織的な取り組み 生徒が全面的に活躍する機会の設定 職員・PTA・関係機関の共通理解と連携			
保健管理班	健康管理能力の確立・向上と組織的な校内環境美化計画及び安全点検の実施	カウンセリングによる教育相談機能の充実と情報の共有化 校内の環境美化に意欲的に取り組む組織づくり 定期的な安全点検による安全・安心な学校づくりの推進			
人権教育班	人権教育特設授業の充実及び生徒の修学の支援。教員の人権意識の向上	特設授業の指導案の精選と教員の学習の深化 養護教諭・SCと連携した生徒の情報共有 校外研修への積極的な参加の推進			
進路指導班	活動記録冊子 PlusOne の定着と京都グローバル人材育成プロジェクトの実施による進路実現	学年ごとの家庭学習時間の目標値の実現による学習時間の確立 京都グローバル人材育成プロジェクトの実施 共通テストに向けた職員研修会の実施とその対応方法の対策検討			
情報広報班	広報活動の充実と情報機器の整備	2020年度入学選抜試験において本校志願者増 年4回の中学校訪問と中学生の1日体験入学の成功 職員の授業におけるICT利用率向上とICT活用能力の向上			
研修班	校内研修及び授業研究の充実と組織的・協働的な指導体制による若年教員の育成	各種研修会への積極的な参加と研修内容の共有 学び合い、高め合うための授業見学週間や研究授業及び公開授業の実施 他分掌との連携による多様な研修内容と指導の充実			
図書班	読書習慣の確立により主体的で深い学びの実現	朝読書の継続実施及び読書情報の提供（ライブラリーニュース） 芸術鑑賞会の企画及び実施 校友会誌の編集及び発行			
第1学年	活動記録冊子 PlusOne の活用により社会貢献できる高い志を持ち、進路実現に向けて努力できる人材の育成	基本的な生活習慣の確立とルールやマナーを遵守する規範意識の育成 週20時間の家庭学習習慣の確立 京都グローバル人材育成プロジェクトに即した社会に貢献できる志の育成			
第2学年	行事等における主体的な行動を促すとともに、希望進路の明確化及び目標週25時間の学習習慣の確立	PlusOne 記入における行事やイベントの内省を通じた主体性とリーダーの育成 SGH、3D、DIYの活動やその評価を通じた自己分析と進路目標の明確化 塗り絵学習法での学習時間の見える化による学習習慣の定着と個人面談の充実			
第3学年	最上級生としての自覚とリーダーシップの育成とともに、各自の希望進路の実現	明確な進路目標の確立と各自の努力目標を数値化した上での進路指導 学年内での連携した指導体制の確立と個人に寄り添ったきめ細かい指導の実践 学校生活全般を通じてのマナー・挨拶・礼儀指導の徹底			
SGH推進班	将来のグローバル人材を育てるプログラムの開発・実施・評価	研究の蓄積及び外部機関との連携を最大限に活用した課題研究プログラムの実践 京都グローバル人材育成プロジェクトにおける課題研究プログラムの開発・推進 PlusOne を活用した評価システムの確立			